

平成29年度 第1回与板警察署協議会議事概要

| | | | | |
|------|----------------------------------|--------------------------|--|----------------------|
| 開催日時 | 平成29年6月7日（水）午前10時00分から午前11時00分まで | | | |
| 開催場所 | 与板警察署（署長室） | | | |
| 出席者 | 委員 (定数5人) | 山田(勝)会長 金泉委員 | 山田(和)副会長 年友委員 早川委員 (会長・副会長以下50音順) | 計5人 |
| | 警察 | 根立署長 末吉会計課長 梅澤刑事課長 | 大川次長 生活安全課長 交通課長 | 警務課長 地域課長 警備課長 |

管内の治安情勢

署長から、平成29年1月から4月末までの管内治安情勢について資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長等から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 犯罪抑止対策の推進について

○ 2月13日

三島中学校の来年度新入生の保護者を対象に、携帯電話のフィルタリングの必要性などを周知し、犯罪に遭わないための指導を実施した。



○ 2月20日

第四銀行出雲崎支店において、強盗事件を想定し、事件発生時の対応用DVDを上映して、被害防止を呼び掛けた。



○ 4月12日

セブンイレブン与板並柳店において、架空請求詐欺被害を未然に阻止した功勞により、店舗と店員に対し感謝状を授与した。



○ 4月26日

架空請求詐欺の被害防止のため、電子マネーギフト券を取り扱う管内11か所のコンビニエンスストアに対し、電子マネーギフト券陳列場所への被害防止ステッカーの貼付を依頼し、被害防止を呼び掛けた。



2 交通事故防止対策の推進について

(1) 高齢者と子供に対する交通安全教育の推進

ア 高齢者講習 (1月～4月) 8回 対象266人



イ 保育園児に対する交通安全教育の推進

チャイルドシート・シートベルト着用強調月間（3月）中、管内の保育園において交通安全教室を開催した。



(2) 春の全国交通安全運動の実施（4月6日～4月15日）

子供と高齢者の交通事故防止などを運動の重点として、街頭指導所などの交通事故防止啓発活動を実施した。（三島・与板・寺泊地区）



(3) 悪質・危険・迷惑性の高い違反に対する交通指導取締りの強化

平成29年1月～4月末の取締り状況についての説明

(4) 赤ランプ活動・街頭指導の強化

当署の対策として

- ・ 日没から夜間における街頭活動、交通指導取締りの強化
 - ・ ICレコーダーと拡声器を使用した赤ランプ活動、駐留警戒
 - ・ 大型スーパーマーケットなど高齢者が立ち寄る施設付近でのミニ検問
- などを実施した。また、悪質・危険性の高い交通違反取締りのほか、
- ・ シートベルト・チャイルドシート着用義務違反の取締り
 - ・ 防災無線などでの広報依頼

などの対策を推進した。

3 住民の相談・要望への誠実な対応について

- 感謝事例

被害者から感謝の手紙が寄せられた。

- 人身安全関連事案（ストーカー事案）の対応
答申書による警告を実施した。

その他の業務推進状況

1 被害者支援関係

「にいがた被害者支援センター」の概要や活動状況について周知を図った。

2 拾得物の取扱状況について

平成29年1月から4月までの期間中に与板署に届けられた拾得物は92件で、そのうちの約30%に当たる28件が寺泊交番への届出であった。

また、遺失者への返還については、拾得件数の半数に当たる46件であった。

警察では

- ・ 落とし物をしたときは最寄りの警察署又は交番・駐在所に「遺失届」を出しておくこと(電話で受付可能)。
- ・ 落としやすい物には、万一に備え記名をすること。
- ・ 県警のホームページでも落とし物検索ができること。

等を広報している。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 犯罪抑止対策の推進について

- (1) 高齢者を対象とした特殊詐欺被害抑止対策の推進
- (2) 窃盗犯被害（侵入盗・車上ねらい・乗物盗）の防止対策の推進

2 交通事故防止対策の推進について

- (1) 高齢者と子供に対する交通安全教育の推進
- (2) 悪質・危険・迷惑性の高い違反に対する取締りの強化
- (3) 季別交通安全運動の実施

3 住民の相談・要望への誠実な対応について

- (1) 相談・要望への適切な対応
- (2) ストーカー、DV等人身安全関連事案の迅速な対応
- (3) 他の専門機関への確実な引継ぎ

諮問に対する意見・質疑等

1 寺泊地内の「ホテル日本海」近くに集会場がある。お年寄りも多く集まるので、道路を安全に横断するために押しボタン式信号機を設置してもらえないか。

- 信号機は、県の予算で設置します。管内でははまなす(長岡市寺泊文化センター)前に設置要望がありますが、現在は、古い信号機の更新を優先している状況です。現場を確認し真に必要であれば、本部に対して設置要望をあげたいと考えております。

○ 信号機の新設は予算上難しい状況ですが、当署では住民の要望を聞き、与板橋西詰交差点の信号のサイクルを変更して、週末午後の寺泊方向から与板市街方向への渋滞を解消しました。今後も継続した赤ランプ作戦により、交通事故防止を図ってまいります。

2 与板の北越銀行前の変形交差点は銀行の駐車場に入る際や堂前方面に直進する際、合図を出したり出さなかったりする車両があり、とても危険に感じるが、あの変形交差点では車両の合図はどのようにしたらよいのか。

○ 右左折の合図は、自分の車両の進行方向を周りの車両に知らせる、安全のために出すものです。迷ったら合図を出していただきたい。

3 私は、34年前に新潟に引っ越してきたが、新潟は交通マナーが悪いように感じる。交通事故に遭った際の自己防衛のために、車両に車載カメラを取り付けた。これはかなり有効だと考えるがどうだろうか。

○ 車載カメラを取り付けることは、有効だと考えます。交通マナーに関しては取締りや交通安全教育を通じてマナー向上につなげたいと考えております。

4 長野県で山岳救助隊員が亡くなったが、救助隊の方は命をかけて仕事をしておられることが良く分かった。世界ではテロも発生している。常に命が脅かされている状況だ。北朝鮮問題もあり、いつ、日本に弾道ミサイルが飛んでくるか分からない。半島で戦争が始まれば、半島から何百万人も避難者が来ると思う。大変だろうがしっかりとやってほしい。

答申

与板警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

署長及び交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

糸魚川大火復興状況への視察状況

議事終了後、糸魚川大火復興状況の視察を実施した。



【糸魚川署における説明】



【被災地の視察状況】